

《全体構成》

人口減少社会やグローバル化の進展に対応して定住人口を確保するためには、次の4つの要件を満たした「市民が魅力を感じるまちづくり」を実現しなければなりません。

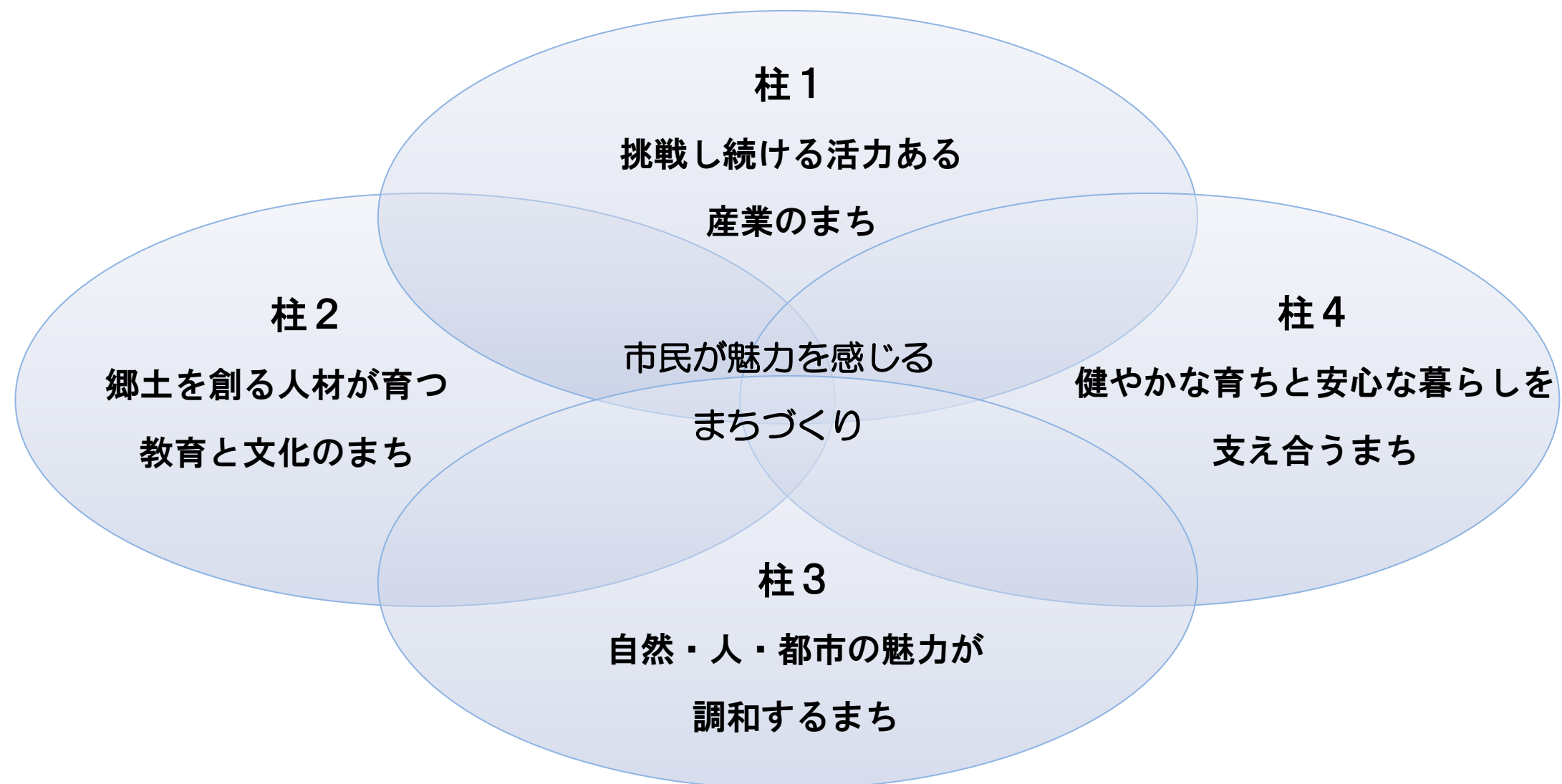
経済が発展し、活気と賑わいにあふれている

市民が郷土への誇り、幸福感を抱いている

自然・文化・歴史が継承された都市を形成している

子育てしやすい環境と健康長寿が実現している

これを実現するためには、既成概念を変えるような挑戦を重ね、新しい産業や仕事を創り出す「挑戦し続ける活力ある産業のまち」、新たなものを生み出し郷土を創る原動力となる、チャレンジ精神やまちづくりへの参加意欲が高い“人づくり”を行う「郷土を創る人材が育つ教育と文化のまち」、豊かな自然環境と市民が快適に暮らせる都市機能が調和し、まちの活力を高めるコミュニティが機能する「自然・人・都市の魅力が調和するまち」、子育て支援や保健・医療・福祉の充実など暮らしを支える「健やかな育ちと安心な暮らしを支え合うまち」の4つの柱を掲げ、それぞれの柱の方向性に向けた取組を推進するとともに、柱間で相互に連携したまちづくりを推進する必要があります。



柱別の方向性について

柱1	課題	方向性
挑戦し続ける活力ある産業のまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域間、国際間での競争が高まった結果、ものづくり企業の付加価値が減少し、雇用形態が変化（リストラ、正社員と非正規社員の格差、賃下げ）している ● 人口減少と少子高齢化の進展に伴い、産業を支える労働力人口が不足し、地域経済が縮小していく傾向にある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既成の価値観から発想を転換した付加価値率の高い研究開発型の内発型産業を誘発させるなど新しい産業やサービスを継続的に生み出していく ● 観光資源等の活用による交流人口の拡大と、女性、若者、高齢者、障がい者等全ての市民が生き生きと働ける環境整備により定住人口を確保し、地域経済の活性化を図っていく

（まちづくりへの意見整理）

項目	本市の地域資源や現況・課題	施策での取り組み・方向性	目指すもの・具体的将来像
商 業	● 商店街連盟や商工会議所に参加しない店舗等がある	米沢の伝統を活かし、地元の特産品のブランド力を高めて世界に通じるようなブランドを創っていく	<ul style="list-style-type: none"> ● 大企業、地元商店及び地域の協働活動により賑わいのあるまちを形成している ● 地域に根差した特色ある地元商店街、地元のレジャーの形成
		店舗等の地元商店会等への加入促進	
工 業	● 製造品出荷額こそ高いものの、付加価値率が全国や県内各市と比べても低い	山形大学工学部等の研究シーズや地元企業の技術等を活用した産業の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 内発型産業（ベンチャー）育成による雇用創出 ● 付加価値率が高く経営基盤が強い企業の育成や※マザー工場の立地推進
		有機エレクトロニクス関連の産業化・集積化	
観 光	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光資源が豊富 ● インバウンド観光には不利な立地 	歴史、温泉、米沢のABC等の豊富な観光資源を活用した観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの人を訪れるまち（交流人口の拡大） ● 市民も魅力を感じ、楽しめる観光のまち
		新たな観光資源となるものを発掘し、集客力の高いイベント等を創出する	
		食べ物や温泉などの観光資源をよりブラッシュアップしていく	
農 業	<ul style="list-style-type: none"> ● 若手農家はやりがいを感じられないのが現状 ● 後継者不足 	農産物の高付加価値化、販路の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域特性を活かした、魅力と活力ある農業経営 ● 国際競争力のある農業 ● 食料自給率の高いまち ● 食に関する安全安心
		米沢の食材を「米沢ブランド」として確立し、価値の向上を目指す	
		担い手、労働力の確保	
		地産地消の推進	
		農地の有効活用・生産基盤整備	
総合的な産業振興等	<ul style="list-style-type: none"> ● 分野横断・地域間の連携強化が必要 ● 競争力を持つ産業として、米沢の伝統産業や長寿企業にも注目すべき ● 地元企業の後継者不足 	産学官民、他地域や他都市との連携を通じて新しい産業や金融サービスを継続的に生み出していく仕組みを創っていく（サイエンスパーク構想）	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性と若者に選ばれる都市 ● 新しい仕事をつくりだすまち ● 付加価値率が高く経営基盤が強い企業の育成や※マザー工場の立地推進（重複） ● 米沢に住んでいる学生が定着できるまち
		若者がベンチャー企業の立上げ等にチャレンジできる環境づくり	
		地元企業の後継者育成	
雇 用	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護関係の求人にな人が集まらない ● 正社員と非正規社員の格差が生じている 	女性、若者、高齢者、障がい者等の雇用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民所得の安定・向上 ● 多様な働き方ができるまち ● 女性、若者、高齢者、障がい者等が社会で活躍できるまち
		雇用環境（条件）を向上させる取組みの推進	
		産業全般にわたる多様な雇用の場、職業の確保	
		国際的に通用する人材の育成	

※マザー工場：メーカーが国外に工場を設立して事業を拡大していく際、それを支援するための高い技術力・開発力・マネジメント力などを備えた工場

柱2	課題	方向性
郷土を創る人材が育つ教育と文化のまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民との協働による取組をさらに推進するためには、主体性・積極性をもって地域づくり・まちづくりに参画できる人材の存在が不可欠 ● 中高生世代は、進学、就職により米沢を離れたいと考える傾向が強く、大学生の地元定着率も低い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育や地域文化の継承、郷土愛の育成等により、チャレンジ精神やまちづくりへの参加意欲が高い“人づくり”を推進する ● 地域内外との交流を通じて、外部からの人材を確保するとともに、若者の地元就職率やリターン率の向上を図る

(まちづくりへの意見整理)

項目	本市の地域資源や現況・課題	施策での取り組み・方向性	目指すもの・具体的将来像
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 若い世代は、米沢を離れたいと考える傾向が強い ● 晩婚化、未婚化、少子化が進んでいる ● 教育に費用が掛かる時代になっている ● 学校や社会に適応できない児童、若者が増えている 	小さい頃から自分のできることやまちづくりの担い手になろうとする自立心、チャレンジ精神の育成	● 内発型産業(ベンチャー)育成による雇用創出(重複)
		地元を知るための学校教育や地域との触れ合いによる郷土愛の育成	● 若者の地元就職率やリターン率が高いまち
		子どもを産み育てる家族観、結婚観の醸成	● 出生率が高いまち
		全ての世代の人を対象とした、集う、楽しむ、学ぶ場の整備	● 人づくりのまち
		質の高い充実した学校教育を行うための環境整備	● 新文化複合施設を拠点として市民の生涯学習や芸術・文化活動が盛んになっている。
		地域の力を活用した教育の推進	● 効率的に学力が身に付く教育力の高いまち
		学校や社会に適応できない児童、若者を復帰させるための幼少期から青年期まで一貫した支援体制の整備	● 確かな生き抜く力を育てるまち
文化	● 城下町としての歴史・文化が根付いている	食文化等の地域文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ● 誰もが誇りを持てる文化を継承するまち ● 新文化複合施設を拠点として市民の生涯学習や芸術・文化活動が盛んになっている。(重複)
		米沢の歴史の継承	
		上杉鷹山の教えの継承	
		芸術・文化活動の促進	
スポーツ	● 健康長寿を目指すうえでスポーツの推進は重要	年代に応じたスポーツ活動の推進	● 市民が生涯を通じて自分にあったスポーツに親しみ、健康に生活している
		見るスポーツ(スポーツ観戦)の促進等によりスポーツに対する市民の関心を高める。	
まちづくり(住民協働)	● 市民が積極的にまちづくりに参加して自分たちの未来を切り開くという視点が必要	地域の人と一緒に若者を育てる仕組みづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 全ての分野に住民が参加するまち ● 住民主体の地域運営がなされているまち
		米沢のために貢献するという熱い心を持った人を育てる	
		小さい頃から自分のできることやまちづくりの担い手になろうとする自立心、チャレンジ精神の育成(重複)	
		外部からの人材確保	
学園都市	<ul style="list-style-type: none"> ● 山形大学工学部、米沢栄養大学・米沢女子短期大学の3つの高等教育機関が立地していることは本市の特色 ● 大学生の地元定着率が低い 	大学と地域の連携推進	● 大学を活用したまちづくり
		卒業する大学生の地元定着率を向上させる	● 若者の地元就職率やリターン率が高いまち(重複)
		山形大学工学部の教養課程を米沢で受講できる体制づくり	● 学生が住みよいまちづくり

柱3	課題	方向性
自然・人・都市の 魅力が調和する まち	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少・高齢化の進展等に対応するため、コンパクトなまちづくりが必要であるが、郊外への大型店舗の進出等により市街地の拡大が進んでいる ● 価値観やライフスタイルの多様化等により地域社会での連帯意識や自治活動に対する参加意識が希薄化してきている ● 米沢の特性・特色を活かしたまちづくりが求められている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心市街地に都市機能を集積させ、市民が魅力を感じる中心市街地、商店街の形成を進める ● 地域住民が主体となった自主的な地域づくりを支援すること等により、希薄化しつつある地域コミュニティの再生を図り、地域（市民）と行政が一体となったまちづくりを推進する ● 豊かな自然環境を保全するとともに、歴史や文化を活用した魅力ある景観形成を推進する

(まちづくりへの意見整理)

項目	本市の地域資源や現況・課題	施策での取り組み・方向性	目指すもの・具体的将来像
コミュニティ環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 隣組等の地域コミュニティ機能が消失しつつある ● 高等教育機関等の教員自身が地元で活動することが必要 	小さい頃から自分のできることやまちづくりの担い手になろうとする自立心、チャレンジ精神の育成（重複）	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域で高齢者や子供を見守るコミュニティの再生
		地域コミュニティ間での交流を促進する	
交通基盤	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬期間の移動インフラ、高齢社会に対応する交通手段の確保 	乗り合いタクシー等のデマンド型交通の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬でも快適に暮らせるまち ● 通学、通院、買い物等をするための必要な交通手段が確保されている
		通学路等生活に必要な道路の環境整備の推進	
適正な土地利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少に対応し、かつ、充実した都市機能を持つまちづくりが求められている。 ● 高校が分散化したことにより街中に学生が集まりにくくなっている 	都市機能のコンパクト化・集約化	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画的なゾーニング（居住エリア、歴史・観光エリア等）の推進 ● 市民が魅力を感じ、楽しめる中心市街地、商店街の形成
		チャレンジショップ街、商業集積等による商店街の再生	
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊かな自然は米沢の大事な資源 ● 地盤沈下が進行している 	森林の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 良好な自然環境の保全 ● 環境にやさしい生活を営んでいる
		地下水の保全	
		河川の水質保全	
景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的な建物が多い 	城下町らしい街並み、景観形成	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的景観を守り、まちの「顔」となる良好な景観の形成
		米沢の顔として駅周辺の景観整備	

柱4	課題	方向性
健やかな育ちと安心な暮らしを支え合うまち	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化の進展に伴い、子育て支援や保健・医療・福祉の充実が求められている ● 冬期間の市民生活の安全安心や円滑な産業経済活動を確保するため、除排雪等の雪対策の充実が求められている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の中核病院である市立病院の機能充実や他の医療機関、福祉、介護施設等との連携を強化し、安心して暮らせる健康長寿のまちを目指す ● 安心して子どもを産み育てることができるよう子育てを支える社会基盤を充実させ、出生率の向上を目指す ● 高齢化や多様なライフスタイル、経済活動に対応できるきめ細かい雪対策を進めていく

(まちづくりへの意見整理)

項目	本市の地域資源や現況・課題	施策での取り組み・方向性	目指すもの・具体的将来像
防犯・交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの安全を守る必要がある ● 社会情勢の変化により、想定外の防犯問題が生じる可能性がある 	<p>地域のコミュニティによって皆で子どもたちを守っていくような体制づくり（集中的な青パトの巡回、郊外への街灯の優先設置等）</p> <p>地域の安全を地域で見守る体制づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心して暮らせるまち、子育てできるまち ● 地域と共に子どもたちを育てていくまち
雪対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 雪はマイナスの部分も多々あるが、資源としての一面もある 	<p>安全を確保するための除排雪体制の推進</p> <p>雪を資源として活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 雪を克服し、活用するまち（雪を楽しむまち、雪と親しむまち）
保健・医療・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域医療において医師や介護職が不足している 	<p>総合的な情報システムを活用し、地域全体で市民の健康をフォローしていく体制づくり</p> <p>生活習慣病の予防、重度化予防により健康寿命の延伸を図る</p> <p>保健・医療・福祉の連携、充実</p> <p>全ての世代における食育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康長寿のまち ● 高齢者、障がい者が安心して暮らせるまち ● 住民自らが健康づくりを行うまち
子育て環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 少子化が進行しており、本市の年間出生数も600人程度と年々減少している 	<p>子育ては本来楽しいものであると思える保育体制・子育て支援制度の充実</p> <p>子どもたちを見守り・育てていく地域づくり</p> <p>子育ては社会にとって重要であるとの意識のづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者が結婚し子育てをしていくうえで、希望を持てるまち ● 出生率が高いまち（重複） ● 年間を通して子育てを楽しむまち
防災・エネルギーの安定供給	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時のエネルギー供給体制に不安がある 	<p>広域的な防災に関するネットワーク体制等の充実・地域間連携による安全安心の確保</p> <p>自然エネルギー等を活用し、安定的にエネルギー供給ができる体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に迅速に対応できるまち ● 市民の生活を守るまち
総合的な安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後は医・食・住・エネルギー・情報等様々な分野での安全安心の確保が求められる 	<p>生産、製造や加工等食に関わる全ての業種においてリスクをどう乗り切るかといった意識付け</p> <p>情報網や情報の質における安全安心の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民が安全に安心して暮らせるまち